

テーマ別コーポレート戦略セミナー
「 関 税 不 確 実 性 時 代 」
【対面・Zoom オンライン開催】

第二次トランプ政権の下、米国では、相互関税、フェンタニル関税、鉄鋼・アルミ・銅関税、自動車・自動車部品関税、半導体関税、医薬品関税など様々な関税措置が導入されています。これらのうち、IEEPAに基づく相互関税・フェンタニル関税等については、連邦最高裁による違憲判決を受けて、還付に向けた準備が進む一方、関連する訴訟が多数提起されるなど、なお不透明な状況が続いています。また、品目別関税や 301 条関税など、今後も課税が継続する関税も多数存在します。このような「関税不確実性時代」をテーマとして、この分野で企業側からの信頼も高い宮岡邦生弁護士に解説いただくセミナーを開催いたします。本セミナーでは、第二次トランプ政権発足以来導入された各種関税の種類、根拠法、現在の状況などを整理した上で、通商法務の観点を踏まえた関税リスク軽減の方法論と留意点（原産地規則、関税分類、関税評価、契約対応等）も解説します。

1. 日 時 2026年6月5日(金) 15:00~17:00
2. 講 師 森・濱田松本法律事務所 宮岡 邦生 弁護士
<https://www.morihamada.com/ja/people/kunio-miyaoka>
3. テーマ 関税不確実性時代
＜具体的なセミナー内容(予定)＞
 - ・トランプ関税の全体像
 - ・関税の根拠法、種類、内容及び現在の状況
 - ・各種関税の適用関係（結局、税率はいくらになるのか？）
 - ・最高裁判決を踏まえた関税還付の最新動向
 - ・企業における関税リスクへの戦略的対応（原産地規則、関税分類、関税評価、契約対応等）
※本セミナーは役員向けの内容ですが、ご参加者のお役職は問いません。
4. 参加費 1名 22,000円（本体 20,000円+10%消費税 2,000円）
※請求書は申込締切日以降に参加者またはご指定の宛先にお送りします
5. 申込締切日 5月28日(木)
6. 会場選択・お申込 対面会場 または Zoom オンライン
※お申込みは会場別のお申込みフォームにアクセスし、必要事項をご記入ください。
 - (1) 対面会場 経団連会館 5階 503号室(定員32名)
⇒対面会場参加のお申込みは <https://e-ve.event-form.jp/event/130126/MWb3YaZz>
 - (2) Zoomオンライン セミナー1週間前を目途に登録用URLをお知らせします
⇒オンライン参加のお申込みは <https://e-ve.event-form.jp/event/130127/MWb3YaZz>

※対面会場が満席の場合は、オンライン参加をご検討ください
※貴社のセキュリティ上、上記URLでご登録いただけない場合、参加希望の旨、下記連絡先へ E-mail 願います
※申込締切日を過ぎてのお取消しは、参加費全額を申し受けます(配布資料はお送りいたします)



【本件ご連絡先】経団連事業サービス講座事業部門 E-mail: cogov@keidanren-jigyoservice.or.jp